



unesco World Heritage site Jomon Prehistoric Sites in Northern Japan

# 世界へ発信！

unesco Global Geopark

## 2つのユネスコ遺産

■問合せ 世界ジオパーク・縄文世界遺産推進室(☎ 82-3663)

## 今読むべき！オススメの本のご案内

7月30日にカムチャツカ半島沖で発生したマグニチュード8.7の地震は、北海道をはじめ全国に大津波警報が発表され、SNSではAIによる偽の動画や根拠のない情報が飛び交いました。災害時の「情報の信頼性」について、私たちはいま、改めて向き合う必要があるのかもしれない。

そんな今だからこそ、東北学院大学が発行する『被災学 (vol.1・2)』をおすすめします。

被災学 vol.1の「北海道胆振東部地震から5年、報道対応と情報発信について考える」では、2018年に北海道で初めて最大震度7を観測した胆振東部地震を取り上げ、当時の報道の対応や、災害時にどのような情報発信が求められるのかについて、東北学院大学の定池 祐季(さだいけ ゆき)先生を企画・コーディネーターに迎えて深掘りしています。

災害が起きた「その時」、そして「その後」にどんな情報が必要なのか。何を信じ、どう伝えるべきか。この機会に考えてみませんか？



貸し出しを希望する人は、平日9時～17時に洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会事務局（洞爺湖温泉洞爺湖観光情報センター2階）までお越しください。※すでに借りられている場合は順番待ちとなります

### さだいけ ゆき 定池 祐季先生の紹介

洞爺湖有珠火山マイスター認定審査委員  
東北学院大学 地域総合学部 政策デザイン学科 准教授  
福島大学 客員研究員



北海道上川郡剣淵町出身。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）。専門は災害社会学、地域社会学、防災教育。人と防災未来センター、北海道大学などを経て現職。

北海道南西沖地震（1993年）を奥尻島で経験したことをきっかけに災害研究を志し、2006年には大学院授業の一環として、北海道大学博物館で有珠山に関する展示を企画。以来、有珠山周辺地域で「生きる山と共に生きる人々」についてのフィールドワークを継続しています。

災害文化、災害伝承に関わる研究に取り組みながら北海道南西沖地震の語り部的活動、被災地・被災者支援や防災教育の実践にも携わっています。



ジオパーク講座や火山マイスター認定審査でもお世話になっています！